



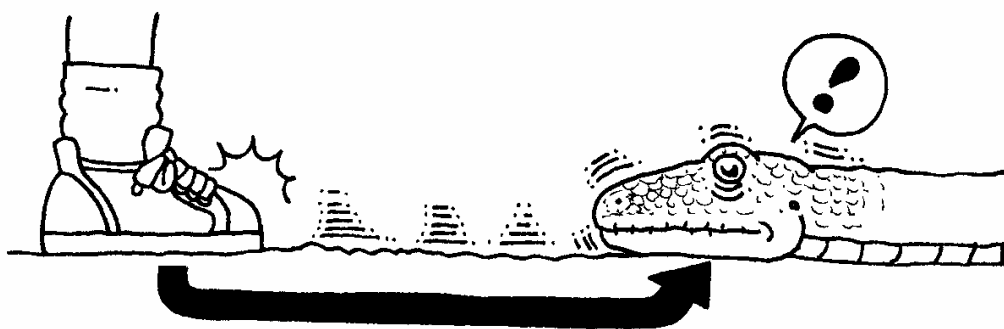
ヘビに^{みみ}耳はあるの

ヘビには^{みみ}耳がない

ヘビは、目は^{め ひかり}光をやっと^{かん}感じるていどしか^み見えず、^{みみ たいか}耳も退化して、^{おと}音はほとんど^き聞こえません。ヘビは、ぺろぺろ出し入れしている舌で、^{だ い}かすかなにおいをと^{した}らえ、^{えもの み}獲物を見つけます。また、^{えもの たいおん}獲物の体温などの、^{おんどへんか}わずかな温度変化を、^{かん かん}びん感に^{かんが}感じることができます。したがって、^い生きていくのに^{め みみ ひつよう}目や耳が^{め みみ たいか}必要なくなったため、^{かんが}目や耳が退化して^{かんが}しまったと^{かんが}考えられています。

ヘビは、^{じめん つた おと}地面を^き伝える音を^きあごで^き聞く

でも、^{じめん}地面を^{いどうちゆう}くねくね^{すす ほうこう}移動中のヘビは、^{おと}進む方向で^{うご}ガサゴソ音が^とすると、動きを^と止めます。ヘビに^き聞こえる^{おと}音は、^{くうきちゆう つた}ふつうの^{おと}空気中を^{おと}伝わってくる^{おと}音なら、^きある^{ひく おと}決まった^{おと}低い^{おと}音だけで、^{いがい}それ以外は^きほとんど^{おと}聞こえません。しかし、^{おと}音は、^{くうきちゆう}空気中だけではなく、^{じめん つた}地面を^{ひろ}伝わって^{ひろ}広がります。ヘビは、^{じめん つた}地面を^{おと}伝わってくる^{おと}音の^{どう}しん動(ふるえ)を、^{ほね とお}あごの^{かん}骨を通して、^{かん}感じることができるのです。^{えもの あしおと}獲物の^{じめん とお}足音などは、ヘビには^き地面を通して、^きはっきり^き聞こえていることになります。(監修・今泉 忠明)



足音を地面のしん動で聞くヘビ

